

# コロナ警戒 思わぬ副作用

新型コロナウイルスの影響で、デイサービスなど通所型の介護事業所が休業したり、高齢者が利用を控えたりする動きが広がった。高齢者の場合、外出しなくなることで、急激に心身の機能が低下するケースもあり、介護する家族や事業所は対応に苦慮している。(森文野)

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスを、感染予防のために休ませることにした。4月中旬には「母もいろいろ思うが分かるが、母親がいろいろ思っている」と、母親が通っていたデイサービスは、母親が通っていた日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

は不安と、地元の内科の老人ホームに預けながら、母親が通っていたデイサービスは、自宅に閉じこもって、今は、自宅に閉じこもっている。母親は通所型介護施設の利用者が分からなくなっており、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

# デイサービス休み 認知症進行も

介護職員も減らされたり、外出の機会が減るためにも、近いうちにデイサービスの利用を再開する」と話す。名古屋市で暮らす女性(59)は、母親が通っていたデイサービスが休業して、外出の機会が減り、認知症が進行している。母親は、自宅に閉じこもって、今は、自宅に閉じこもっている。母親は通所型介護施設の利用者が分からなくなっており、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

## 外出、会話の機会減少 ■ 食欲減退や歩行困難…

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

は不安と、地元の内科の老人ホームに預けながら、母親が通っていたデイサービスは、自宅に閉じこもって、今は、自宅に閉じこもっている。母親は通所型介護施設の利用者が分からなくなっており、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

### 休業や利用中断

デイサービスなどの利用者の減少は、事業所の経営にも大きな影響を与えている。都内6か所でデイサービスを営む会社は、計約700人いた利用者が6～7割まで減少。4月7日の緊急事態宣言後に休業し、5月11日から再開したものの、時間や人数を縮小しているため、収入は5割ほどに落ち込んでいる。都内約20か所でデイサービスを運営する別の会社は、3月以降、約1200人の利用者のうち約200人が利用を控え、4月の売り上げは約2000万円減った。この会社の責任者は「5月も同様で影響は大きい。感染対策を徹底し、利用再開を進めたい」と話す。一般社団法人「全国介護事業者連盟」(東京)が5月6～12日、全国の介護事業所や施設計1862か所に経営への影響を聞いたところ、「影響を受けている」が55.7%、「影響を受ける可能性がある」が37.7%だった。デイサービス

### 通所型事業所の9割「経営に影響」

新型コロナウイルスによる経営への影響。介護事業所が回答した1862事業所が対象。影響はない6.6%、影響を受ける可能性がある37.7%、影響を受けている55.7%。通所型の事業所に限ると727事業所が回答。影響はない2.1%、影響を受ける可能性がある7.2%、影響を受けている90.8%。※全国介護事業者連盟の調査から、小規模施設を四捨五入しているため、合計が100%にならない。



などの通所型事業所に限ると、「影響を受けている」が90.8%に上った。厚生労働省は、通所型事業所が、訪問サービスを提供したり電話で安否確認したりした場合も、介護報酬の算定ができるよう基準を緩和しているが、事業所にとっては厳しい状況が続いている。

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」

■「推帯の使い方が、早く着が速くなり、認知症が進んでしまった気がする」。東京都江戸川区の男性(72)は、両親が介護する母親(87)について語る。男性は毎日、母親が通った日通っていたデイサービスで、以前より歩くのも遅くなった。このため、自宅で行っていたウォーキングなども行けなくなり、男性は「まだ不安があるけど、親は」